

令和7年度 事業計画

令和7年度の方針は、「サステナビリティ（持続可能性）への貢献」です。具体的には、地域産業、地域社会、会員企業それぞれの持続的発展への貢献です。

1. 地域産業の持続的発展

龍野地域の産業構造には、「大企業の工場群」、「長年、重厚長大型の大企業を支えてきた多種多様な基盤技術を有した企業群」、そして「醤油・素麺・皮革を中心とした地場産業の企業群」の3つの企業群が集積しているという大きな特徴があります。それぞれは既に十分強固ですが、相互連携を深めることによって、地域産業は更なる飛躍を遂げる可能性を秘めています。

この相互連携をコーディネートするには高度な専門性が要求されますので、大学や研究機関の協力が不可欠となります。そこで、令和5年5月に連携協定を締結した兵庫県立大学の協力の下、この3つの企業群の相互連携を深めています。

その一環として、世界共通の課題である「脱炭素社会」に向けた取組みについての研究に取り組んでまいります。この分野は大企業が先行的に取り組んでいますが、その大企業においても確たる解決策を導き出すところまでは至っていないのが現状です。

そこで、大企業の工場等の取組み状況や課題を聞き取り、効果的な取組みを共有するとともに、企業単独では解決できない課題を取りまとめてまいります。そのうえで、県立大等の協力を受け解決に向けて研究していきます。脱炭素に関するノウハウを蓄え、将来的には、地元企業に対しても、効果的な取組みを伝えていきます。

2. 地域社会の持続的発展

地域産業や会員企業の持続的発展の前提として、経営環境の整備が必要不可欠です。そこで、経営環境の整備、すなわち、龍野の「まちづくり」を進めてまいります。

当地域においては、総合医療・介護施設、宿泊施設等様々な開発案件が目白押しです。重伝建に選定された川西地区においても、本格的な国の支援が始まります。龍野西インターチェンジ周辺の工業団地の拡充構想も伺っています。

こういった「点」の計画を結び付けて「線」の計画とし、さらには「面」の全体構想にまで昇華させることを目指して取り組んでまいります。

具体的には、商業、サービス業部会を中心に県立大等のご協力を頂きながら、龍野地域経済が持続的に発展するためのまちづくりについて調査研究を行います。

3. 会員企業の持続的発展

会員企業を取り巻く環境は、人口減少という長期課題に加え、依然として続くコロナ禍の影響、更に物価高騰という大きな課題にも直面しています。

この厳しい経営環境の中、事業継続に向け、懸命に経営努力を行っている会員企業へのきめ細やかな支援に注力してまいります。

そのうえで、ITを活用して生産性向上に努める会員企業への積極的な支援に取り組めます。会員各社がDXを推進するに当たって立ちは大かっている知識不足、人材不足、資金不足といった課題を克服するため、利便性の高いソフトをリスト化し、導入特典も付与した「デジサポ」事業を積極的に推進してまいります。

併せて、脱炭素社会への対応を支援するため、二酸化炭素排出量測定システムの活用をサポートする「見えサポ」事業も普及に努めます。

これらの支援策を中心に会員企業の生産性向上を強力に支援してまいります。

以上の通り、龍野商工会議所は、「サステナビリティへの貢献」の掛け声のもと、当地域の持続可能な発展と会員企業の持続可能な成長を目指して、引き続き諸施策の推進に努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

重点項目

テーマ：サステナビリティ（持続可能性）への貢献

1. 地域産業の持続的発展

(1) 脱炭素社会に向けた調査研究

龍野地域に立地する大企業の工場等における脱炭素社会に向けた取組みや課題について調査研究し、効果的な取組みを共有するとともに課題を取りまとめる。兵庫県立大学環境人間学部等の協力を得て、進めていく。

醤油・食品両工業部会において、食品残渣処理についての調査研究を引き続き行う。

(2) SDGs についての取組み

兵庫県立大学環境人間学部の学生等の協力を得て、各会員企業におけるSDGsの取組みをヒアリングするとともに、更なる推進に向けた提案について発表会を兵庫県立大学、西兵庫信用金庫と共催する。

2. 地域社会の持続的発展

(1) まちづくり

商業・サービス業部会を中心に、龍野地域経済が持続的に発展するためのまちづくりについて県立大等の協力を得ながら調査研究する。また、他団体が開催する勉強会等にも積極的に参画する。

理財部会において、金融教育普及事業を実施する。

(2) 意見・要望活動

全国の商工会議所や関係諸団体と密接な連携を図りながら、地域経済の一層の発展と会員企業の更なる成長を目指した提言・要望活動を展開する。

3. 会員企業の持続的発展

(1) 経営努力を続けている会員企業へのきめ細やかな支援

① 部会担当職員の巡回相談による金融支援を中心とした支援

部会担当職員による巡回相談を中心にニーズや課題をヒアリングし、課題分析、解決策検討・実行を状況に応じて支援する。金融支援を中心に、資金繰り表作成から経営計画の策定・実施をサポートする。

また、会員各社において、「ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業」を通して企業の持続的発展を図る取組みについて啓発を続けていく。

② 事業承継支援

喫緊の課題となっている事業承継について、事業承継税制の特例も活用して、承継計画の策定・実施を支援する。

③ B C P策定・実行支援

頻発する自然災害等の対策として、また、近年急増しているサイバーセキュリティ対策も含めて、B C P（事業継続計画）策定・実行支援に取り組む。

その際、保険料が団体割引されるビジネス総合保険等の活用により、想定リスクに対して適切な付保ができるよう支援する。

④ 人材採用・定着・育成支援

企業における最大の経営資源である人材について、龍野地域雇用開発協会と連携を図り、若年層の早期退職が頻発している現状を踏まえ定着に向けた支援に取り組む。

階層別・テーマ別のセミナー・講演会、検定試験を開催し、企業の人材育成を支援する。

リニューアルした会議所さくら共済を中心とした共済・保険制度の普及、集団健康診断の実施、労働保険の事務代行等を通じて、会員事業所の福利厚生の実践に貢献する。

⑤ 交流推進

部会対抗ゴルフコンペを開催し、会員間の交流促進を図る。

各部会において、大阪・関西万博見学会、情報交換会等を開催し、部会員間の交流促進を図る。

(2) D X推進による生産性向上に取り組む会員企業への積極的支援

I Tを活用して生産性向上に努める会員企業を積極的に支援する。知識不足、人材不足、資金不足といったD X推進に当たった課題を乗り越えるため、ソフトをリスト化し導入特典も付与した「デジサポ」事業を推進する。

併せて、脱炭素社会への対応を支援するため、二酸化炭素排出量測定システムの活用をサポートする「見えサポ」事業を通じて啓発に努める。

(3) 販売促進支援

商業・サービス業部会において、新規顧客創出に向けて「龍野お店の賑わいアップ事業」を実施する。「龍野お店の一店逸品」発信事業、「龍野お店のゼミナール」事業、「龍野お店巡りパスポート」事業を切れ目なく開催していく。

皮革工業部会において、たつのレザー展示即売会を開催し、消費者ニーズの把握に努める。

(4) 創業支援

創業計画策定・実行支援を中心に、創業セミナー、創業塾等を通じて創業を支援する。

シーズ発想になりがちな創業計画をニーズ志向に転換するとともに、余裕を持った資金計画を立てることによって安定した事業立上げに貢献する。

4. 広報・会員サービス

(1) 有益な情報の適切な周知・広報

会報龍野、ホームページ、Facebook、メールマガジンといった媒体を使い、有益な情報を適宜情報発信する。

(2) 貸会場サービスの提供

Wi-Fi環境、映像・音響設備に加えて飲食機能も整った、会員企業のさまざまなニーズに応えられる貸会場として活用促進に努める。

5. 組織基盤拡充・業務効率化

(1) 組織基盤強化

3年に1度の役員・議員改選期に当たり、選挙・選任業務を適切に執行する。
事業者のニーズに的確に対応し、積極的な会員増強を行う。

(2) 女性会

創立35周年を記念して、記念事業を開催する。

税務セミナー、会員情報交換会等経営者としての研鑽に努める。

他地域の女性会との交流を図るため、全国商工会議所女性会連合会総会、関西商工会議所女性会連合会総会、兵庫県内商工会議所女性会交流会に参画する。

(3) 青年部

次世代の地域経済の担い手を育成すべく、「たつのワーカーズ」事業を行う。

他地域の青年部との交流を図るため、全国大会群馬いせさき大会、近畿ブロック大会かこがわ大会、相生・赤穂両商工会議所青年部との3市交流事業に参画する。

(4) IT活用による事務局業務の効率化

まずは、何を差し置いても法令遵守を徹底する。特に、昨今増加しているサイバーセキュリティ対策は重点的に実施する。

そのうえで、IT活用による生産性向上支援を拡充するため、経営指導員を中心に職員の研修を重点的に行う。合わせて、事務局におけるIT化を進め、業務の効

率化を図る。

また、認定を受けた「ひょうご産業SDGs認証事業」、「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（フレッシュミモザ企業）」の両計画に基づき、働き甲斐があり、かつ、働きやすい職場環境を整備する。

以 上